

利用者様の生き活きを願って

介護ホーム みのりの里の新しい取り組み



2013年5月から6月にかけて、みのりの里では大規模な工事が行われました。

まず、中庭を囲む建物に沿って車いすでも余裕をもって通行が出来る広めの回廊(ウッドデッキ)が作られました。これによって火災や地震など万が一の時に、通所部(デイサービス)と住宅部の両方から、玄関だけでなく、中庭にも、ほぼバリアフリーで避難することが可能になり、安全性が一段と高まりました。



中庭には芝生が植えられました。また、中庭のフェンスの外側には菜園(畑)を作りました。

ウッドデッキの小広場には椅子やテーブルを出して野外喫茶を楽しんだり、外の空気に触れる機会を増やすことが出来ます。そして何よりも、歩行訓練がウッドデッキを利用して自然な形で出来るようになりました。

機械や道具を使わず、
自然な形で心と体の
リハビリを。

これに加えて、隣接地に菜園を作ったのは、利用者様にも一緒に参加していただき、草花や野菜をすることで、体を動かすだけでなく、心も生き活きとなって頂きたいと願ってのことです。

もうすでに、芝生に水撒きして下さる利用者様のボランティアも出てきました。少しずつ、自然な形で、利用者様の出来る範囲で「やる気」を高めて頂けたら、と願っております。みのりの里スタッフも、利用者様の体と心のリハビリにより一層努力いたします。

5月より本格的なリハビリのために、理学療法士が月に2回程訪問し、利用者様のリハビリ指導を行うようになりました。

